

みなさんの疑問にお答えします!

C-ENGINEの研究インターンシップ



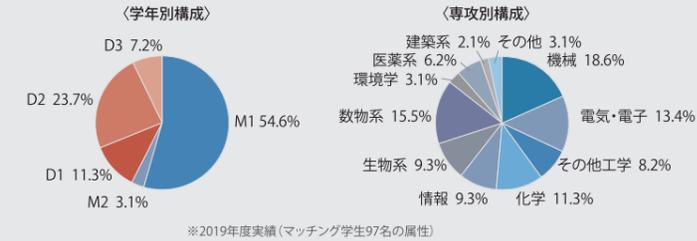
「インターンシップに興味はあるけれども、前に踏み出せない」「2ヶ月も研究室から離れられない」「どんなプログラムがあるの」説明会などでよく耳にする学生の皆さんの質問を集めました。「?」を「!」にする情報が詰まっています

Q 一般的なインターンシップとの違いは?

A 企業での研究の現場を一定期間体験することで、大学では得られないさまざまな「気づき」を得て、研究者としてさらに成長できる素地を築いていただくことを目的に、良質なインターンシップの機会を提供します。また、大学の公認事業としてコーディネーターのサポートを得ることもでき、インターンシップテーマや日程などカスタマイズすることが可能です。

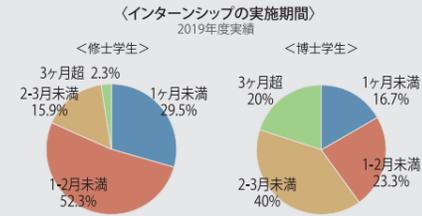
Q インターンシップに参加する学生の学年や専攻は?

A 修士1年、博士1年、博士2年の学生のみなさんが多く参加されています。修士学生が58%、博士学生が42%となります。専攻には偏りはありませんが、機械、電気・電子、化学、情報、基礎学問(数学・物理)を専攻されている学生のみなさまが多く参加されています。



Q 中長期とありますが、すべて2ヶ月以上のプログラムでしょうか?

A テーマによって異なりますが、修士学生の82%が、2ヶ月以内のインターンシップを選択、博士学生は逆に60%が2ヶ月を超えるインターンシップを選択しています。「時間的余裕がない」とあきらめず、プログラムを検討してみませんか。



Q 掲載テーマのなかに適当なテーマが見当たりませんか?

A C-ENGINEの参画企業には、学生からのテーマ応募型の企業もあります。企業の研究内容を確認し、希望する研究テーマを明確にしたうえでコーディネーターに相談してみてください。

Q インターンシップに参加したいのですが、希望する企業が遠方です

A 受け入れ企業ごとに対応は異なりますが、原則としてホテルや寮などをご提供いただけます。コーディネーターに相談してみてください。

Q インターンシップに参加すると、就職には有利なのでしょうか?

A 直接的には関係はありませんが、インターンシップをとって企業の研究現場や風土を理解することができます。企業は学生の能力や取り組み姿勢を確認できます。インターンシップ先への就職を希望する場合には、互いに理解しあえていることが有利になるといえるでしょう。

Q アカデミアに残ることを考えていますが、インターンシップに参加することができますか?

A C-ENGINEのインターンシップは、自身に必要なトランスファラブルスキルを意識することで研究者として更なる成長の機会になります。また、非競争領域における長期的視野にたった基礎研究の種探しができます。積極的な参加をお願いします。

Q インターンシップでの報酬はあるのでしょうか?

A 本インターンシップは、大学院教育の一環として実施するもので、基本、無償となっております。但し、博士課程学生以上では、有償のプログラムもあります。IDM掲載の募集要項など確認してください。

Q インターンシップに参加する際に意識すべきことは?

A 貴重な時間をインターンシップに充てることとなります。時間を無駄なものにしないように、インターンシップをおこなうことでの目標やゴールを明確にしてください。インターンシップ・テーマが決まれば、事前にその分野の学習、準備などをすることが必要です。大学によっては事前教育の場が設けられることがありますので、積極的に参加しましょう。

「一流の研究者になる前に、一人前の研究者になろう」

C-ENGINEは、研究インターンシップをとって、学生が一人前の研究者として身につけるべきトランスファラブルスキルの習得を支援します

協議会会員

[企業] (五十音順)

(2021年3月現在)



[大学]



研究インターンシップに挑戦してみませんか?

2021 C-ENGINE

**大学公認事業
理系大学院生&ポスドク対象**

協議会(C-ENGINE)は、研究インターンシップをとって、一人前の研究者として身につけるべきトランスファラブルスキルの習得を支援します。

さらに、産学の対話と知の交流により相互理解を深め、我が国の研究力に厚みをもたせイノベーション創出に貢献します。

一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会(C-ENGINE)

一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会(C-ENGINE)
 〒606-8302 京都市左京区吉田牛ノ宮町4 日本イタリヤ会館305
 TEL: 075-746-6872 MAIL: contact@c-engine.org URL: http://www.c-engine.org



C-ENGINEは 産と学の交流をとおして イノベーションを創出できる人材育成をめざす大学と企業のコンソーシアムです

C-ENGINEの研究インターンシップは、修士課程・博士課程・ポスドクなど若手研究者が産官学を問わず将来イノベティブな人材として活躍することを目的とした教育プログラムです。就職のためのインターンシップとは異なり、これまで培った研究力を活かして産業界の研究開発実務に関わることで、俯瞰力・チームワーク力・マネジメント力などを学び、研究者としての幅を広げます。また、産業界の人脈を広げるチャンスでもあります。

C-ENGINEのインターンシップ3つの特徴

C-ENGINEは、研究インターンシップを普及・推進、イノベーション人材を育成することを目的として、日本の有力大学とグローバル企業により設立されました。(※) 大学と企業が組織として参画することで、他のインターンシップにはない3つの特徴があります

1 大学 × 企業

日本を牽引する大学と企業が組織として参画することで質の高いインターンシップを提供

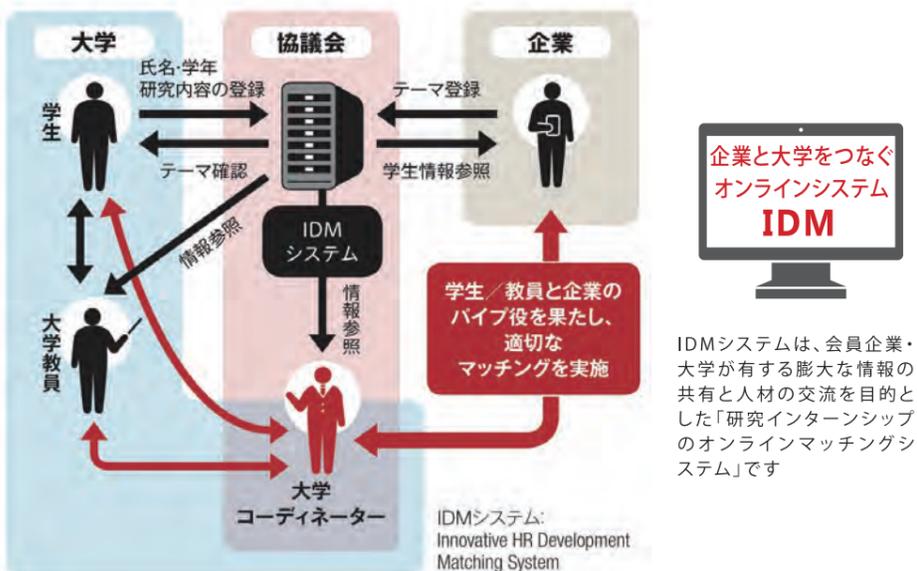
2 中長期のインターンシップ

腰を落ち着けて企業の研究現場を体験することが可能となる中長期のインターンシップを数多く提案

3 柔軟なサポート体制

オンラインシステムの活用と経験豊富な大学コーディネーターによる柔軟で適切なサポート

C-ENGINEのインターンシップのマッチングは、オンラインでのマッチングに並行して、大学所属のコーディネーターが学生・大学教員と企業のパイプ役を果たし、適切なマッチングをおこないます。インターンシップの内容や時期を調整し、学生・企業にとって有意義なインターンシップとなるよう、個別のケースの条件や特性を考慮し、ていねいなマッチングに努めます



まずはIDMのアカウント登録からはじめよう!!

IDMにユーザー登録してできること

- 会員企業が限定公開しているインターンシップ募集テーマをチェック
- 企業へのアピール
- 企業に対して研究テーマの提案

IDMのアカウント登録はこちらから→ <https://idm.invhr.org/regist/>



登録された個人情報は、本活動にのみ活用され、他の機関が利用することはありません

(※) C-ENGINEは、経済産業省のご支援のもと、大学と企業が発起人となり、平成26年（2014年）1月に設立しました

インターンシップ開始までの一般的な流れ

- STEP 1 参加申し込み**
IDMシステムにアカウント登録
- STEP 2 IDMシステムでテーマ探し**
自身の研究内容、興味、希望などをIDMに登録
各企業のインターン募集テーマの閲覧
- STEP 3 インターンシップへの応募**
コーディネーター・指導教員と相談して応募
エントリーシートの提出
- STEP 4 面談**
学生・コーディネーター・企業担当で面談
実施テーマ/時期/期間等を調整
- STEP 5 事前準備**
マッチング成立後、大学-企業間の契約手続き
保険加入、事前学習
※コーディネーターが事前講義を実施する大学もあります
- STEP 6 インターンシップ開始!!**
企業研究者との協働がいよいよスタート
思いきり活躍してください!!

企業理解を深めるためのイベント開催

C-ENGINEでは、学生の皆さんに企業理解を深めていただくことを目的として「マッチング交流会」「企業研究所見学会」「土曜セミナー」などを開催しています。企業での研究インターンシップに関心のある皆さまの参加をお待ちしています。

● 「マッチング交流会」

インターンシップに関心を持つ学生と企業の交流の場、企業の概要のほかに具体的な研究内容、本音などを聞くことができます。例年は、各大学にて開催されますが、昨年度は、コロナ禍影響のため、オンライン開催を実施いたしました。本年度も、春季・秋季と開催を予定しています。



2019.5.22 筑波大学 交流会



2019.4.26 大阪府立大学 交流会



2019.5.9 大阪大学 交流会



2019.5.20 東京工業大学 交流会

● 「企業研究所見学会」

企業研究所を訪問し、現場の雰囲気を感じることにより、企業理解を深める場となります



2019.11.22
ダイキン工業見学会

● 「土曜セミナー」

研究者として社会で活躍するために身につけることが望ましいトランスファラブルスキルRISEの理解と企業研究開発におけるイノベーションの理解を目的として開催しています



2019.12.7
土曜セミナー

インターンシップで経験できること

短期のインターンシップではできない以下の経験が可能です。

最前線の企業研究に参画できる



- アカデミアでの研究と企業での研究の違いを知る
- 社会に貢献する研究には何が必要かを知る
- 企業での経験、知見を自らの研究活動に活かす

異なる環境に身を置くことで自分の適性や能力を知る



- 企業研究者として通用するかを見極める
- 企業での研究を経験し、研究者としての自信をつける
- アカデミア or 企業、将来の進路の判断材料とする

チームの一員として研究する力を身につける



- 異分野の研究者との協働を通して、表現や連携する力を磨く
- コミュニケーションや信頼関係の築き方を学ぶ
- 将来の人的なネットワークを構築できる

インターンシップを経験した学生の声

(2020年度の学生報告書より抜粋)

● 大阪大学大学院 工学研究科 M1 × コニカミノルタ 2020年9月28日～11月27日
インターンシップを経て企業の研究職として働きたいという思いが確実に became ました。企業では様々な立場の人に研究内容を説明することが多く、よりわかりやすく説明する能力が求められること、スムーズに研究を進めるためには周りの人との協力が不可欠であること、多様な人材がおられることで新しい視点や解決策が生まれることを体感することができました。これから研究インターンシップを検討している人へのメッセージとしては、あまり深く考えずに参加してみてください。大学とは全く違う環境を体験することは本当に有意義で楽しく、将来の自分の姿を考える上で必ず役に立つと思います。

● 奈良女子大学大学院 人間文化総合科学研究科 M1 × 堀場製作所 2020年11月1日～12月4日

学内イベントで、HORIBAグループに就職された研究室の先輩が生き生きと語られているのを見て、興味を持ち参加しました。インターンシップでは、製品開発の場で再現性評価実験を主に行いました。実験結果の理由を考え、評価改善に繋げ、計画実行に移して行くことを繰り返し、「なぜ」という視点を持つことができるようになりました。現場に入ることで自分自身の未熟な点、誇れる点のはっきり見えました。参加しなければ分からなかったことも沢山あります。例を挙げると、報連相です。ただ報連相するだけでは意味がないことが分かり、どのように伝えると良いかを考えることができるようになりました。C-ENGINE のインターンシップは目標とそれに対する意識が非常に重要だと思います。働く自分を想像することができ、何を大切にしたいかがリアルにみることができました。

● 東北大学大学院 理学研究科 D2 × 日本ゼオン 2020年8月6日～9月18日

卒業後の進路決定のため、大学と企業研究所における研究の違いや必要なスキルを学ぶためにインターンシップの参加を決めました。初めての完全オンラインによるインターンシップだったため、受け入れ部署の方も自分も手探りの部分が多くありましたが、今回は主に計算機を用いた研究だった事もあり、業務上の支障はほぼありませんでした。オンラインでの実施はまなホウレンソウが大切だと感じました。インターンシップを経て、自分の専門と多少違っていても、論理的、合理的思考能力が重要であるという点は変わらず、普段の研究生活で鍛えた力が役に立つと実感できました。計算結果について実験を担当されている方とディスカッションをし、PDCAサイクルを回したことで、研究推進におけるチームワークをより意識するようになりました。

● 筑波大学大学院 グローバル研究院 D2 × リコー 2020年8月6日～9月30日

2か月間のインターンシップを通して、企業での研究活動がどのようなものであるかを十分に学ぶことができました。これまでに使ったことのないシステムや技術が要求されることもありましたが、大学での講義や研究活動を通して培ってきた知識や技術を応用することで、対応することができました。また、自身の専門分野(コンピュータビジョン、画像処理)を活用する場面もあり、これまでの知識や技術が役に立ったことを実感できました。インターンシップでの成果としては、社会的要求を考慮した研究背景や、周辺技術のサーベイに基づいて、提案システムのプロトタイプを実装し、実証実験まで行うことができ、さらにはこれらを論文としてまとめて、学会に論文を投稿することができました。

● 京都大学大学院 工学研究科 D2 × 電力中央研究所 2020年10月1日～12月4日

大学では実施できないレベルの実践的な試験ができただけでなく、電力業界がどのような研究を望み、それに対して研究所がどのように研究を進めているのかについて、研究テーマの立案や研究計画等の観点から学ぶことができました。また、現場のニーズと研究者が思うニーズとのズレの本質的な原因も、大枠で把握することができ、非常に有意義なインターンシップとなりました。

(Ver01:20210303)